

# 全木連時報

1月30日(木曜日)

(第660号)

平成26年(2014年)

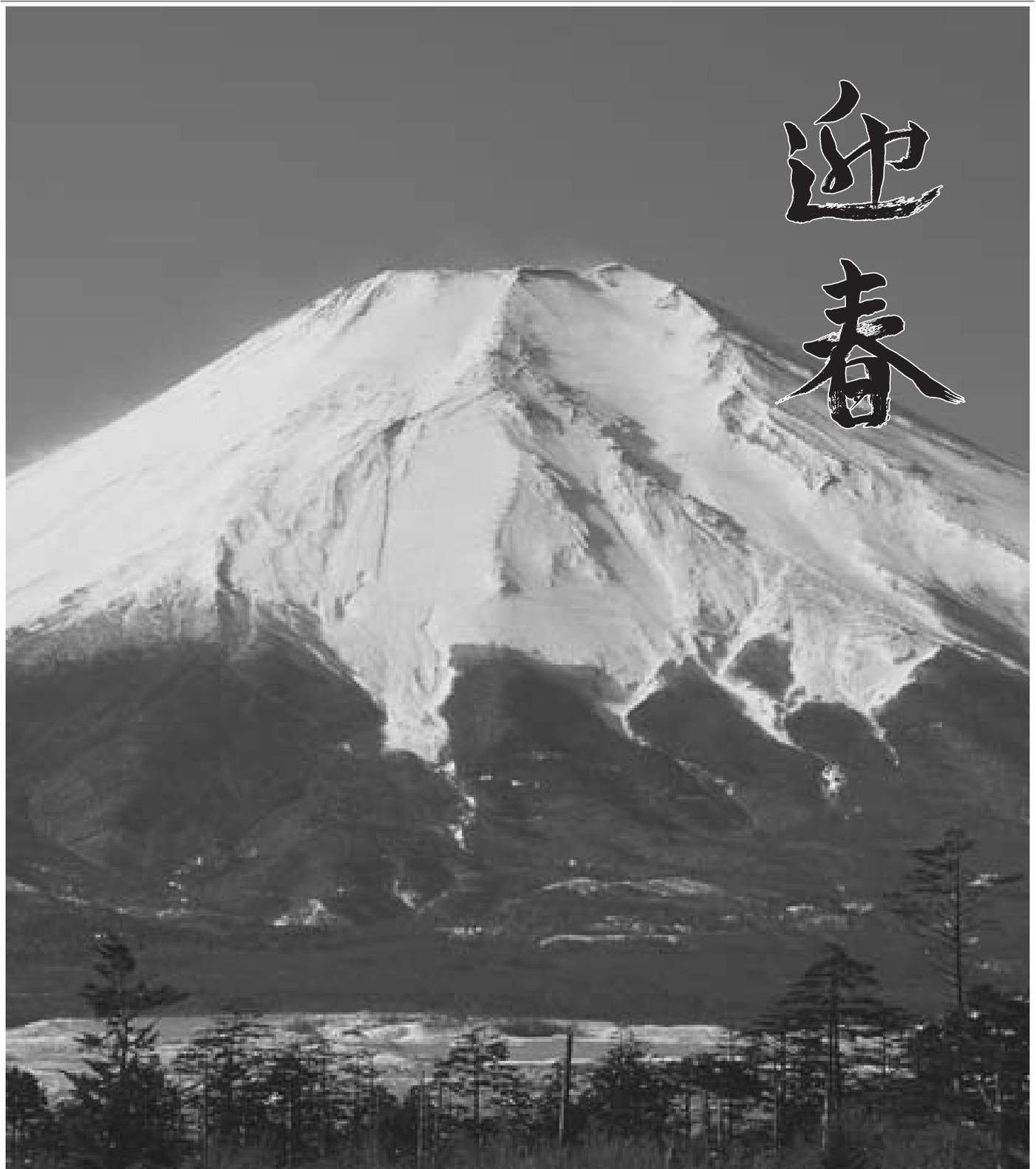


木材産業シンボルマーク

発行所

社団法人 全国木材組合連合会

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215  
URL <http://www.zenmoku.jp>



# 年頭のご挨拶

## 一般社団法人全国木材組合連合会

### 会長 吉条良明



新年あけましておめでとうございます。皆様方には本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の経済動向は、昨年早々からの大胆な経済再生対策の展開により、景気は緩やかな回復がみられます。住宅着工戸数は平成二十六年度からの消費税引上関連もあって前年を上回る着工規模で推移し、木材業界は、木材需要は下半期には木材、特に国産材の需要が増加し明るい兆しがみられました。新消費税率導入の影響などを見据え、事業環境の先行きは予断を許さない状況にあります。

昨年、全木連は、木材業界の展望を切り拓くためには何よりも木材・国産材の需要拡大が重要であることから、年明け早々から、木材業界挙げて需要拡大に向けた自主的活動や各種施策充実の実現活動を強化したところであります。そして、業界が熱望していた木材利用ポイント事業の創設、木造公共施設促進対策や地域材利用の木造住宅建築促進対策などの拡充強化が措置されました。関係省庁の皆様方に感謝申し上げる次第であります。特に、木材利用ポイント事業の推進は、木材需要拡大を各種機関や多くの人々のご理解・賛同を得て進めていく上で極めて重要であることから、全木連は事業推進の全国事務局に参画し、会員、木材・建築関係の方々との絶大なご協力をいただき、申請窓口業務を担うとともに、事業全体の円滑な推進に木材業界挙げて取り組んでいただいております。皆様方には、改めて感謝申し上げます。皆様方には、改めて感謝申し上げます。同時に、事業普及、申請業務等に引続きのご協力をお願い申し上げます。

昨年十一月には、さいたま市で第四十八回全国木材産業振興大会を「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興」～「街づくりへ木材利用を拡大しよう」～をスローガンにして開催し、木材を使う街づくり推進の総合的取組み、東京オリソンピック・パラリンピック関連施設等への木材利用、木質バイオマス利用の推進などを宣言決議しました。さらには、緊急的な「特別決議」として、新消費税率導入に伴う景気反動に対応する大型経済対策、木材利用ポイント事業・木造公共建築物促進対策等の木材需要拡大対策などの拡充強化を決議し、それらの早期実現に業界挙げて取り組んでいくことを確認し合いました。そして関係方面に対する要請や業界の自主的取組みを強化したところであります。新たな経済対策・木材需要拡大対策などの実現・展開などにより、景気回復の持続と木材需要・木材産業の事業環境の維持・改善を強く念願するものであります。木材・国産材を街づくりやエネルギーなど多くの分野に利用していかうとの関心・動きは着実に広まっています。この動きを現実につなげていかなければなりません。関係機関、ユーザーの方々との連携・協働を一層深めて、くらし・街づくりへの木材利用推進の活動を新たな機軸で展開していくこと、そして低コストで安全・安心のJAS製品、乾燥材等の安定供給に一層努力していくことが木材需要拡大、木材業界発展の道筋であると考えます。全木連といたしましても、本年も、これら取組みの推進、課題解決に全力を挙げて取り組んでいく考えであります。本年が、皆様方にとって良い年でありますようご祈念申し上げます。さらに引続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とします。

### 開催のおしらせ

## 第5回「新たな木材利用」事例発表会

日時：平成26年2月13日(木)13時15分～17時

場所：木材会館7階ホール

主催：(一社)全国木材組合連合会、木材利用推進中央協議会

事例発表：第1部 街角等における木材利用

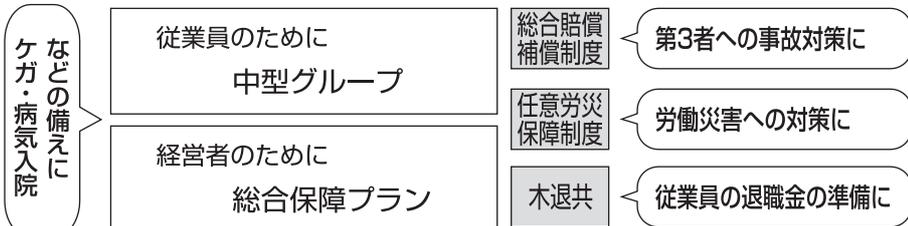
第2部 木材を使った街づくり

## 企業経営に安心を提供します

### 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年

中型グループ



## 全国木材協同組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3  
TEL 03-3580-3215(代)

# 全国木材協同組合連合会

## 会 長 坂 東 正 一 郎



新年おめでとうございます。輝かしい新年の年頭に当たり一言ごあいさつ申し上げます。皆様方には本会の業務運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年の我が国の経済につきましては、大胆な経済対策や東京オリンピック・パラリンピックの開催決定など明るいニュースなどを背景に、景気動向は緩やかな回復の兆しがみられ、住宅着工戸数、木材需要も幾分上向きとなっております。しかし、新消費税導入による景気への影響等により、木材業界の事業環境の先行き不透明という状況にあります。

政府は年末に「好循環実現のための経済対策」を決定し、消費税引上げによる需要の反動緩和や成長力底上げを図るための対策などを打ち出しています。これら対策の効果的な展開により、景気回復

の維持・回復が確保され、また木材業界全体の事業環境の好転を強く願っています。木材利用の拡大は最重要であります。当会は、昨年十一月にさいたま市で全国木材産業振興大会を「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興―街づくりへ木材利用を拡大しよう―」のローガンの下に全国から八百名の参加者を得て開催しました。木材需要の太宗をなしてきた住宅建築が、今後、少子化などの影響で多くを望めなくなっている中で、木材を商工業施設、公共建築物の木造化・内装木質化、エネルギーなどへの利用拡大、すなわち街づくり全体に木材利用を推進していく宣言決議、大型経済対策及び木材需要拡大対策の特別決議をいたしました。そして、それら実現に向けて会員挙げての活動を展開していくことを確認し合いました。木材利用促進に関する国や地方公共団体の施策は、公共建築物等の木材利用促進法、木材利用ポイント事業、地域型住宅ブランド化事業などその充実が進められています。これらは木材業界の永年に渡る活動の成果ともいえます。2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まりました。これら関連施設

には象徴的なものとして木材利用が大きく進められることを強く念願しています。「木材を使う街づくり」これの本格的活動は急務ではないでしょうか。木材利用の中心的担い手である木材業界関係者の主導の下に、行政機関はもとより建築・消費者の皆様方との連携・ネットワーク形成を確かなものとして様々な分野での木材の利用・工法の提案も含め活動を展開していくことが必要であると考えます。

その一方では、木材利用拡大を図る上で重要なことは、需要サイドに低コストで安全、安心の両面にわたる品質と性能の確かな木材を安定的にしっかりと供給できる体制を整えることが欠かせません。当会では、地域材利用促進のために木材加工施設の導入に当たっての利子助成やリースの支援、地域材安定供給促進のための高性能林業機械のリースの支援などを実施し、また、共同事業・共済事業につきましても会員の皆様方の事業運営にお役にたてるよう推進しているところとす。これら事業の実施に当たりましては、会員の皆様方の多大なご理解、ご協力をいただいております。これら事業を円滑に推進していくこととしており、引続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

皆様にとって、本年が明るい佳き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 全木連 全木協連

## 理事会・臨時総会開く 役員補充など承認決定

全木連、全木協連は、十月二日、東京木材会館で、それぞれ理事会、臨時総会を開き、役員補充、平成二十五年度補正予算など所定の議案をすべて承認・決定したほか、最近の情勢などを報告した。また、木退共は理事会を開き、平成二十五年度業務執行状況、共済会の財務諸表について報告、承認した。

まず、平成二十五年度の予算を補正することについて原案のとおり承認決定した。

次に、役員補充を行い、本年五月の総会以降、各会団の役員異動に伴い、次のとおり決定した(敬称略、カッコ内は前任者・所属)

▼理事Ⅱ 佐藤豊彦(亀山征弘・宮城)、林紀一郎(山口武夫・栃木)、高橋秀行(落合公信・神奈川)、田中信行(豆原直行・岡山)、岸幹夫(角和憲・福岡)、松尾和俊(全木連・田中隆行・木材防腐)。

▼副会長Ⅱ 菊地成一(亀山征弘・東北)、松尾和俊(田中隆行・業種別)

また、業務の執行状況について報告した。



# 全木連理事会・ 臨時総会

全木連の会議は午後一時から開始。まず、吉条会長が挨拶。その後、吉条会長を議長として

このほか、以下の十二項目の報告を行い、会議を終了した。

①平成二十六年概算要求②平成二十六年度税制改正要望③木材利用ポイント事業の実施状況④発電用バイオマスの認定に関する動向⑤公共建築物の木材利用促進⑥木材利用普及の取組み⑦環太平洋パートナーシップ(TPP)協定の動向⑧JAPICの国産材マークへの対応⑨合法性証明木材を取りまく状況と供給体制の整備⑩林野庁幹部との意見交換概要⑪第四

景況調査

25年12月分集計表 ( )内は実数

〔流通部門〕

モニター数95 回答数52 回収率55%

当月の状況

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

来月の見通し

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

Table with 4 columns: Category, Strong, Stable, Weak. Rows include 3 months later market outlook for Rice, South Sea, Foreign, Domestic, and Building materials.

プレカットの動向

Table with 4 columns: Item, 1 month or less, 1 month, 1 month or more. Rows include Issuance and waiting time.

〔製造部門〕

モニター数123 回答数64 回収率52%

当月の状況

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

来月の見通し

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

Table with 4 columns: Category, Strong, Stable, Weak. Rows include 3 months later market outlook for Rice, South Sea, Foreign, and Domestic materials.

プレカットの動向

Table with 4 columns: Item, 1 month or less, 1 month, 1 month or more. Rows include Issuance and waiting time.

全木協連理事会・臨時総会

全木協連の会議は、全木連などに引き続き開始した。

まず、坂東会長が挨拶。

その後、坂東会長が議長となり、議事を進行した。

まず、総会事項として、平成二十五年度補正予算を事務局の報告を受けて承認決定した。

十八回全国木材産業振興大会の開催(平成二十六年全国会議等の日程について)。

役員異動に伴い、次のとおり決定した。敬称略、カッコ内は前任者・所属。

理事 佐藤豊彦(亀山征弘・宮城)、林紀一郎(山口武夫・栃木)、高橋秀行(落合公信・神奈川)、花尻忠夫(越井健・大阪)、岡本信和(鳥越康生・岡山)、岸幹夫(角和憲・福岡)。

理事会事項では、平成二十五年中間事業報告、木材産業体質強化事業の取扱い、中型グループ共済保険加入促進、参事の異動について審議し、それぞれ原案の通り承認決定した。

このほか、①平成二十五年度全木協連にかかる木材関係補助事業の推進状況②平成二十五年度木材加工設備導入利子助成事業③第四十八回全国木材産業振興大会の開催④平成二十六年全国会議等の日程について報告し、会議を終了した。

木退共理事会

木退共は、理事会を開き、平成二十五年度の業務執行状況、木材産業退職金共済会の財務諸表について審議し原案どおり決定した。

林業・木材産業の発展を支えます！

昭和38年創立以来、林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行っています。

(対象業種)

- 造林・育林 素材生産
木材・木製品製造 薪炭生産
林業種苗生産 きのご生産
木材卸売



平成25年度東日本大震災復旧緊急保証の受付を開始いたしました。詳しくは基金までお問い合わせ下さい。

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コービル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: http://www.affcf.com